

【課題 1 1】議会モニター制度について

区民に対してより開かれた区議会とし、区民からの要望、提言、その他の意見を聴取し、議会運営等に反映させるための具体的な検討項目の一つとして、議会モニター制度について検討した。

主に以下の議論を行ったが、今期中に結論を得るに至らなかった。

論点 1 実施の目的・効果

主な意見

- ・ 年に数回の議会報告会だけでは、区民と議会との距離が縮まらない。
- ・ 議会モニターに最終的に何を期待するのか、制度の目的をはっきりさせなくてはいけない。区民アンケートを実施したように区民の声を吸い上げるのか、本会議・委員会を傍聴してもらって「今の区議会の審議は、もう少し活性化させるべきではないか」等の意見を求めるのか。
- ・ 議会モニターは、傍聴をしてもらい、感じた点を含めて最終的に議会に提言してもらおう仕組みであり、大事なことかと思う。とりあえずやってみようという感覚で実施するのはいかがなものか。じっくり検討して、他の自治体の実施例も参考にしながら、もう少し勉強した方がいい。
- ・ 議会モニターに何をやってもらうのか。ただ、感想だけ出してもらうのか。そうでないとなれば、専門性が問われてくる。
- ・ 絶対にいいものであれば、各地方議会で実施する。実施した効果のようなものを研究しないとイケない。実施したことによって、こんなに素晴らしい影響が議会にあったという話をあまり聞いたことがない。

論点 2 議会モニターの人選

主な意見

- ・ 実施する以上は、墨田区全体の平均した意見を聞けるものにしたい。
- ・ 政党に中立で、かつ公正な判断のできる方は、そう多くはない。
- ・ 今すぐの実施は、選考の方法がなかなか難しい。むしろ、この間実施した区民アンケートの予算を拡充して、アンケートを回答しやすいものにするなどによってアンケートの回答の集約を強化する方がいい。
- ・ 区の人口が 25 万人であるから、人口 1 万人に議会モニター 1 人ぐらいの割合で最終的に 25 人ぐらい集めていく。期ごとにモニターのメンバーを変えていけば、その積み重ねで人選のノウハウも生まれてくる。

